

Super Head Bore Stroke Up KIT取扱説明書

ボアストロークアップキット

品番	リング	適 応
01-06-1444	3RING	Z50(106R/カム) Sクランク/106cc
01-06-1454	3RING	Z50(106R/カム) Lクランク/106cc
01-06-1464	3RING	Z50(106R/カム) Rクランク/106cc
01-06-2444	3RING	Z50(106T/カム) Sクランク/106cc
01-06-2454	3RING	Z50(106T/カム) Lクランク/106cc
01-06-2464	3RING	Z50(106T/カム) Rクランク/106cc

シリンダーヘッドキット

品番	リング	適 応
01-03-1413	3RING	Z50(106R/カム) 106cc
01-03-2413	3RING	Z50(106T/カム) 106cc

正しく安全にご使用頂くために

この度はタケガワ製品をお買い上げ頂きまして有難うございます。ご使用になられる前に必ずこの説明書をよくお読み頂いて内容を把握下さいませお願い致します。

取り付け前には必ず製品内容をお確かめ下さい。万一お気付の点がございましたらお買い求め頂いた販売店にご相談下さい。

当製品を組み付けた車両を一般道路で運転するには自動二輪小型限定以上の免許を取得されている方に限られます。又、市町村役場へ原付一種から原付二種への変更届を提出し、任意保険及び強制賠償保険は、排気量増大の申請手続きを行って下さい。

作業を行う際は必ず各車種専用のホンダサービスマニュアルを参照し確実に行ってください。又、この説明書やサービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った人を対象としていますので技能や知識を持っていない人が作業を行った場合、正しく組み付け出来ない場合があります。

クラッチはスペシャルクラッチ又は乾式クラッチをご使用下さい。ノーマルクラッチや強化クラッチでは、クラッチ容量が不足し滑りが生じます。

当製品を単独で使用した場合、本来の性能が発揮出来ません。必ずエンジンに見合ったカムシャフト、キャブレター、マフラーに交換して下さい。排気量を増大した場合、必ず強化オイルポンプ、強化カムチェーンに交換して下さい。

スパークプラグは、6V車(NGK)C8HSA/(DENSO)U24FS-U、12V車(NGK)CR8HSA/(DENSO)U24FSR-Uを基準とし、プラグの焼け具合により熱価を決定して下さい。

燃料は必ず無鉛のハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。

エンジン回転計を取り付け必ず指示されたエンジン回転数を守ってご使用下さい。

記載内容や仕様などは製品改良のため予告無く変更する場合がありますので予めご了承下さい。

この説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

出力に応じたスプロケットに変更して下さい。

タコメーターユニットはEタイプヘッド専用用品をご使用下さい。Eタイプヘッド以前のユニットは取り付け出来ませんのでご注意ください。

他社製品の点火系は絶対に使用しないで下さい。

このスーパーヘッドステージ2は、チタンバルブスプリングリテーナーを標準装備しております。スチールリテーナーに比べ約30%の軽量を実現しております。表面にはHV2300以上の表面硬度をもつSPVDコーティングを採用しております。従来のTinコーティングよりも耐衝撃性、耐摩耗性を向上させています。ただし、耐久性につきましては、スチール製に比べ劣りますので定期的な点検を必ず行い、損傷、消耗が有れば、新品と交換して下さい。又、耐久性を重視される方は、スチール製バルブスプリングリテーナーに交換下さい。

000-03-007:バルブスプリングリテーナー

急発進・急加速

空ぶかし、急加速、急激なエンジンブレーキはエンジンに高負荷がかかります。最悪の場合はクランクシャフトが破損し、エンジンを壊してしまう恐れがありますのでご注意ください。

注意 この表示を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を、示しています。

一般公道では、法的速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。

(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)

作業を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)

作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品破損・ケガの原因となります。)

製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)

警告 この表示を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

技術、知識のない方は、作業を行わないで下さい。(技術、知識不足等による作業ミスで、部品破損により、事故につながる恐れがあります。)

ピストンピンサークリップ、ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。

(部品の摩耗や損傷で、部品破損により、事故につながる恐れがあります。)

作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)

点検、整備を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。

(そのまま使用すると、部品破損により、事故につながる恐れがあります。)

エンジンを回転さす場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉したような場所では、エンジンを始動しないで下さい。

(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)

走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みの有無を確認し、緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。

(部品の脱落等で、事故につながる恐れがあります。)

走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)

ガソリンは非常に引火しやすい為、一切の火気を避け、燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。(火災の原因になることがあります。)

点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。

(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)

指定した部品以外の部品使用は、一切行わないで下さい。(部品破損により事故につながる恐れがあります。)

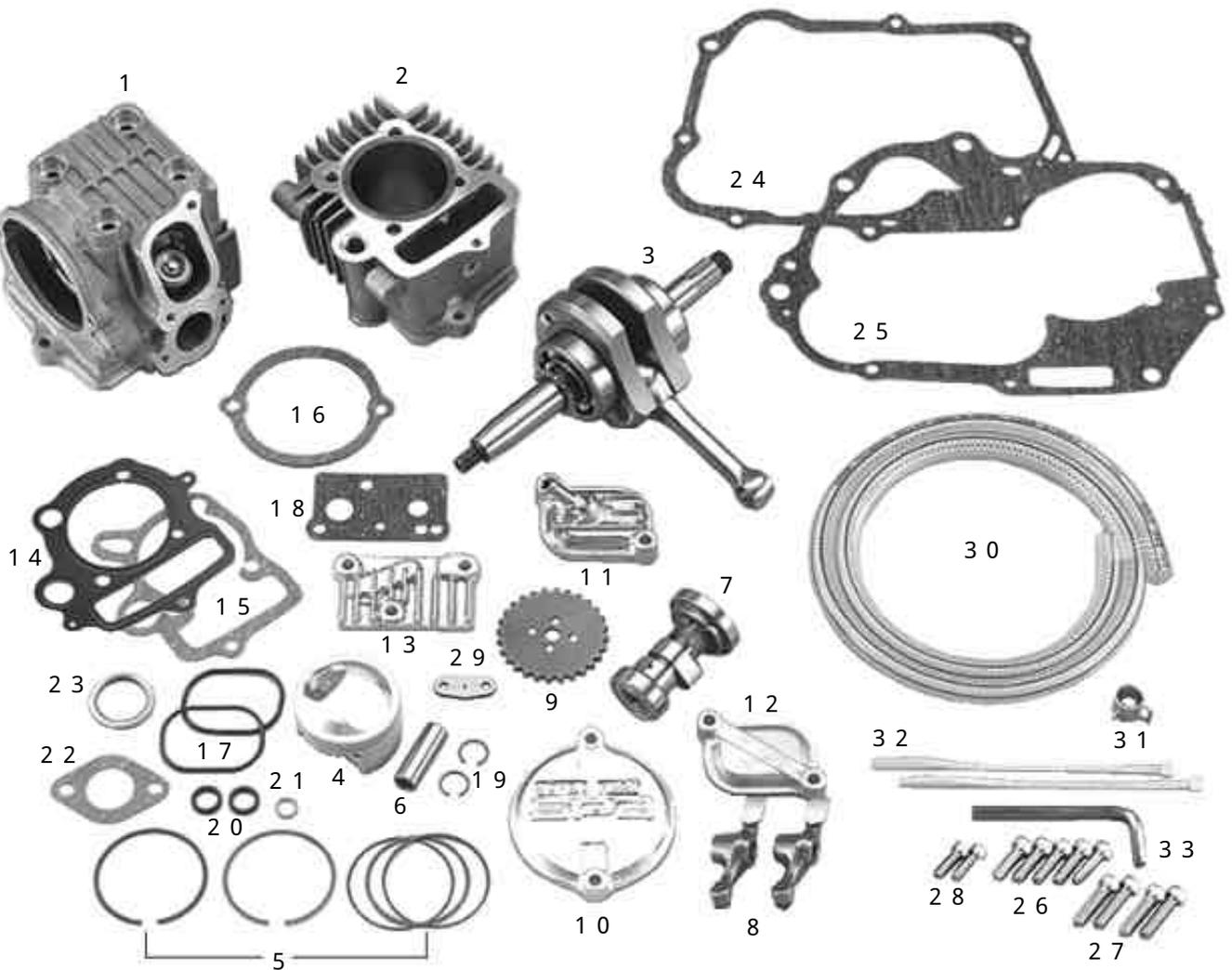
規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。

(ボルトおよびナットの破損、脱落等で事故につながる恐れがあります。)

酸化したガソリンの滞留は、危険性が有る為通気の良い場所で行ってください。(爆発につながる恐れがあります。)

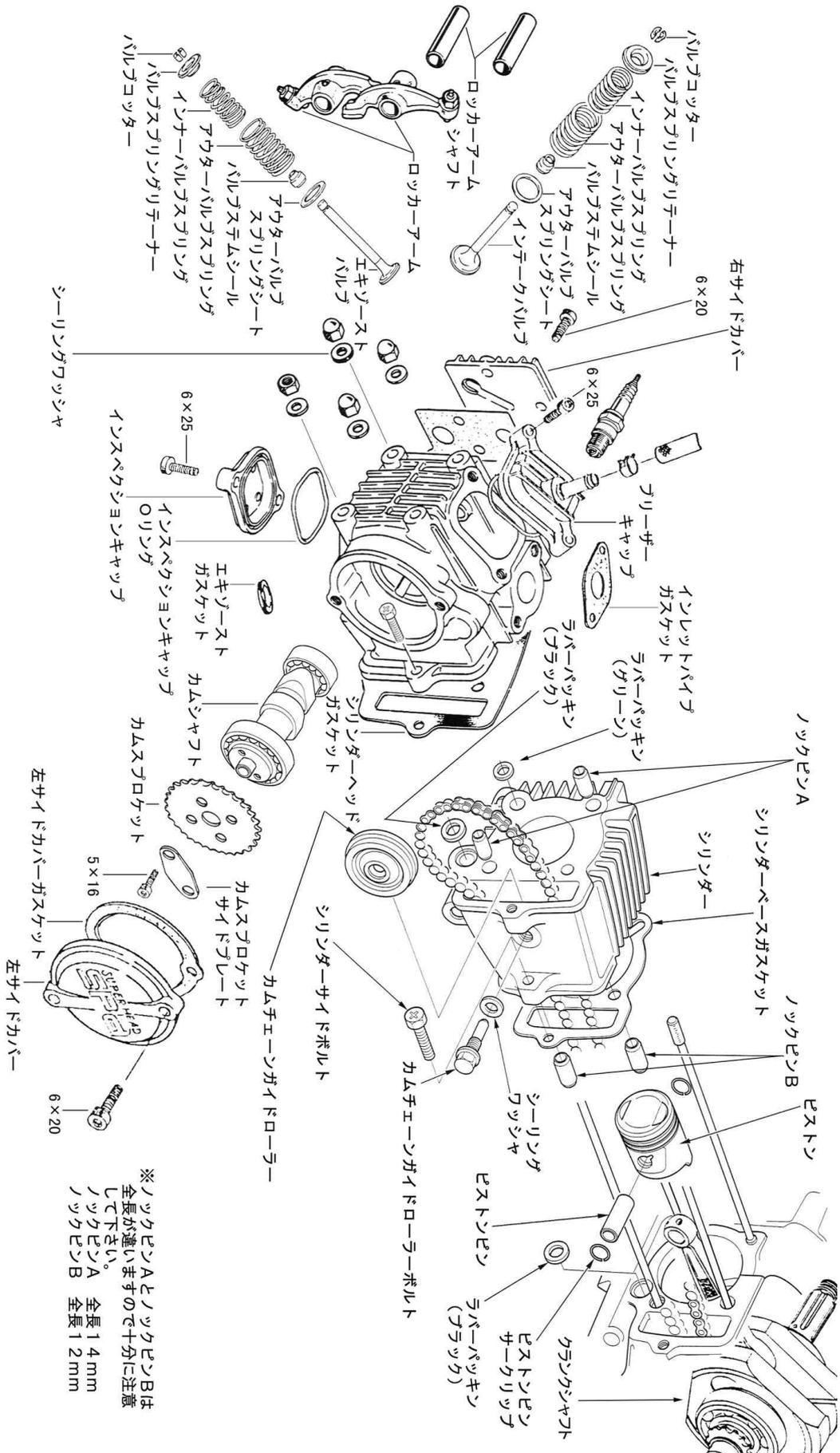
燃料は必ず、ハイオクタン価ガソリンを使用して下さい。(ノッキング等のトラブルで事故につながる恐れがあります。)

~ 商 品 内 容 ~



番号	部 品 名	個数	番号	部 品 名	個数
1	シリンダーヘッドASSY .	1	18	右サイドカバーガスケット	1
2	シリンダー	1	19	ピストンピンサークリップ	2
3	クランクシャフトASSY .	1	20	ラバーパッキン(ブラック)	2
4	ピストン	1	21	ラバーパッキン(グリーン)	1
5	ピストンリングSET	1	22	インレットパイプガスケット	1
6	ピストンピン	1	23	エキゾーストパイプガスケット	1
7	カムシャフトCOMP .	1	24	R . クランクケースカバーガスケット	1
8	ロッカーアーム	2	25	クランクケースガスケット	1
9	カムスプロケット	1	26	ソケットキャップスクリュー 6 x 20	5
10	左サイドカバー	1	27	ソケットキャップスクリュー 6 x 25	4
11	ブリーザーキャップ	1	28	ソケットキャップスクリュー 5 x 16	2
12	インスペクションキャップ	1	29	カムスプロケットサイドプレート	1
13	右サイドカバー	1	30	ブリーザーパイプ 950mm	1
14	シリンダーヘッドガスケット	1	31	ホースクランプ	1
15	シリンダーベースガスケット	1	32	インシュロックタイ	2
16	左サイドカバーガスケット	1	33	6角レンチ 5mm	1
17	インスペクションキャップOリング	2			

印は、シリンダーヘッドキットには含まれません。



※ノックピンAとノックピンBは
全長が違いますので十分に注意
して下さい。
ノックピンA 全長14mm
ノックピンB 全長12mm

組み付け前に

エンジン脱着、クランクケース分割等、作業が必要になります。適応車種にあったホンダ純正サービスマニュアルおよび、TAKAGAWA テクニカルノートを必ず参照し、確実に作業を行って下さい。

組み付けには、各車両の仕様に応じたガスケット、パッキン類等が必要となりますので、別途お買い求め下さい。

SET内容をご確認下さい。

シリンダ - ヘッド締め付けナット、ワッシャ、ボルト、ノックピンなどの部品は点検をし異常がなければ再使用しますのででなくさない様にして下さい。

⚠ 警告：各部の点検・消耗品の確認・交換は確実に行って下さい。

ノ - マルのカムチェーンでは切れてしまう可能性があります。ノ - マルのオイルポンプではエンジンが潤滑不良を起こす可能性がありますので強化カムチェーンやス - パ - オイルポンプの使用をおすすめします。

ノ - マルキャブやノ - マルマフラー - では調子が出ないで当社製ビックキャブキットや高性能マフラー - の装着をおすすめします。

エンジンの出力によってはクラッチがすべる場合がありますので、当社製強化タイプクラッチの装着をおすすめします。

ボアアップすると50ccのままのギヤ比ではロ - ギヤ - ドすぎて各バ - ツの摩耗が早くなりますのでエンジンの出力にあったスプロケットの変更をして下さい。

ボアアップを装着するエンジンからシリンダ - ヘッド、シリンダ - 、ピストンを取り外す。シリンダ - ヘッド締め付けナット、ワッシャ、ボルト、ノックピンなどの部品は点検をし異常がなければ再使用しますのででなくさない様にして下さい。

取り外したヘッドのR - サイドカバーを取り外しロッカ - ア - ムシャフトを取り外す。これも点検し異常がなければ再使用します。

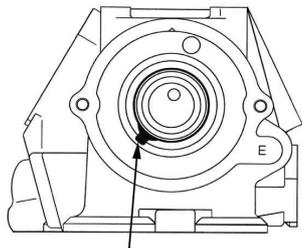
クランクケースのシリンダ - ベ - ス面にベ - スガスケットのかすが残っている場合、スクレイパー - やカッター - でガスケットかすを取り除きシリンダ - ベ - ス面をきれいにしておく。

クランクケースのスリ - ブホ - ルに段がある場合、スリ - ブを押ししてしまう可能性があるため削る。

クランクケースの分割等、作業が必要になります。適応車種にあったホンダ純正サービスマニュアルおよび、TAKAGAWA テクニカルノートを必ず参照し、確実に作業を行って下さい。

カムシャフトの組み付け

カムシャフトのベアリングとカム山にエンジンオイルを塗布する。シリンダ - ヘッドのカム穴部にあるカム山の逃げ部分(矢印部分)にインテ - クのカム山が通る様にシリンダ - ヘッド内に入れる。



カムシャフトの奥のベアリングを先に入れる感じでカムシャフトをまっすぐにして手で押し込みます。

(ヘッド自体に多少の個体差があるので少しか目の物もありますがまっすぐに入れば手で入りやすいのでハンマー - 等でたたかない様にして下さい) たたいて壊してしまってもクレ - ムにはなりません。

ロッカ - ア - ム組み付け

ロッカ - ア - ムのカム山当り面とロッカ - ア - ムシャフト穴にオイルを塗布する。

ス - パ - ヘッド内にロッカ - ア - ムを入れる。先にス - パ - ヘッドから外しておいたロッカ - ア - ムシャフトにオイルを塗布しロッカ - ア - ムに通して奥まで押し込みシリンダ - ヘッドカバー - を取り付ける。

ス - パ - ヘッド内にロッカ - ア - ムを入れる。先にス - パ - ヘッドから外しておいたロッカ - ア - ムシャフトにオイルを塗布しロッカ - ア - ムに通して奥まで押し込みシリンダ - ヘッドカバー - を取り付ける。

ス - パ - ヘッド内にロッカ - ア - ムを入れる。先にス - パ - ヘッドから外しておいたロッカ - ア - ムシャフトにオイルを塗布しロッカ - ア - ムに通して奥まで押し込みシリンダ - ヘッドカバー - を取り付ける。

ス - パ - ヘッド内にロッカ - ア - ムを入れる。先にス - パ - ヘッドから外しておいたロッカ - ア - ムシャフトにオイルを塗布しロッカ - ア - ムに通して奥まで押し込みシリンダ - ヘッドカバー - を取り付ける。

ス - パ - ヘッド内にロッカ - ア - ムを入れる。先にス - パ - ヘッドから外しておいたロッカ - ア - ムシャフトにオイルを塗布しロッカ - ア - ムに通して奥まで押し込みシリンダ - ヘッドカバー - を取り付ける。

ス - パ - ヘッド内にロッカ - ア - ムを入れる。先にス - パ - ヘッドから外しておいたロッカ - ア - ムシャフトにオイルを塗布しロッカ - ア - ムに通して奥まで押し込みシリンダ - ヘッドカバー - を取り付ける。

ス - パ - ヘッド内にロッカ - ア - ムを入れる。先にス - パ - ヘッドから外しておいたロッカ - ア - ムシャフトにオイルを塗布しロッカ - ア - ムに通して奥まで押し込みシリンダ - ヘッドカバー - を取り付ける。

ス - パ - ヘッド内にロッカ - ア - ムを入れる。先にス - パ - ヘッドから外しておいたロッカ - ア - ムシャフトにオイルを塗布しロッカ - ア - ムに通して奥まで押し込みシリンダ - ヘッドカバー - を取り付ける。

ス - パ - ヘッド内にロッカ - ア - ムを入れる。先にス - パ - ヘッドから外しておいたロッカ - ア - ムシャフトにオイルを塗布しロッカ - ア - ムに通して奥まで押し込みシリンダ - ヘッドカバー - を取り付ける。

ス - パ - ヘッド内にロッカ - ア - ムを入れる。先にス - パ - ヘッドから外しておいたロッカ - ア - ムシャフトにオイルを塗布しロッカ - ア - ムに通して奥まで押し込みシリンダ - ヘッドカバー - を取り付ける。

ス - パ - ヘッド内にロッカ - ア - ムを入れる。先にス - パ - ヘッドから外しておいたロッカ - ア - ムシャフトにオイルを塗布しロッカ - ア - ムに通して奥まで押し込みシリンダ - ヘッドカバー - を取り付ける。

ス - パ - ヘッド内にロッカ - ア - ムを入れる。先にス - パ - ヘッドから外しておいたロッカ - ア - ムシャフトにオイルを塗布しロッカ - ア - ムに通して奥まで押し込みシリンダ - ヘッドカバー - を取り付ける。

ス - パ - ヘッド内にロッカ - ア - ムを入れる。先にス - パ - ヘッドから外しておいたロッカ - ア - ムシャフトにオイルを塗布しロッカ - ア - ムに通して奥まで押し込みシリンダ - ヘッドカバー - を取り付ける。

ス - パ - ヘッド内にロッカ - ア - ムを入れる。先にス - パ - ヘッドから外しておいたロッカ - ア - ムシャフトにオイルを塗布しロッカ - ア - ムに通して奥まで押し込みシリンダ - ヘッドカバー - を取り付ける。

ス - パ - ヘッド内にロッカ - ア - ムを入れる。先にス - パ - ヘッドから外しておいたロッカ - ア - ムシャフトにオイルを塗布しロッカ - ア - ムに通して奥まで押し込みシリンダ - ヘッドカバー - を取り付ける。

ス - パ - ヘッド内にロッカ - ア - ムを入れる。先にス - パ - ヘッドから外しておいたロッカ - ア - ムシャフトにオイルを塗布しロッカ - ア - ムに通して奥まで押し込みシリンダ - ヘッドカバー - を取り付ける。

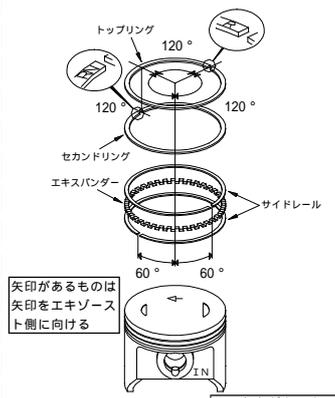
ス - パ - ヘッド内にロッカ - ア - ムを入れる。先にス - パ - ヘッドから外しておいたロッカ - ア - ムシャフトにオイルを塗布しロッカ - ア - ムに通して奥まで押し込みシリンダ - ヘッドカバー - を取り付ける。

ス - パ - ヘッド内にロッカ - ア - ムを入れる。先にス - パ - ヘッドから外しておいたロッカ - ア - ムシャフトにオイルを塗布しロッカ - ア - ムに通して奥まで押し込みシリンダ - ヘッドカバー - を取り付ける。

ス - パ - ヘッド内にロッカ - ア - ムを入れる。先にス - パ - ヘッドから外しておいたロッカ - ア - ムシャフトにオイルを塗布しロッカ - ア - ムに通して奥まで押し込みシリンダ - ヘッドカバー - を取り付ける。

ス - パ - ヘッド内にロッカ - ア - ムを入れる。先にス - パ - ヘッドから外しておいたロッカ - ア - ムシャフトにオイルを塗布しロッカ - ア - ムに通して奥まで押し込みシリンダ - ヘッドカバー - を取り付ける。

ス - パ - ヘッド内にロッカ - ア - ムを入れる。先にス - パ - ヘッドから外しておいたロッカ - ア - ムシャフトにオイルを塗布しロッカ - ア - ムに通して奥まで押し込みシリンダ - ヘッドカバー - を取り付ける。



IN文字があるものはIN文字をインテーク側に向ける

キャブレタ - マフラー - 等を取り付ける

- - 組み付け後の注意 - -

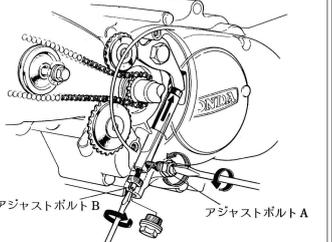
エンジンを始動する前にオイル量を点検し、イグニッションキ - OFF、ガソリンコックOFFの状態です - パ - クラップを外し、しばらくキックをしエンジン各部にオイルを充分に行きわたせた後、始動して下さい。始動後もいきなり高回転まで回さずなるべく低い回転で維持する様にして下さい。エンジンを組み付けた時、規定トルクで締め付けているボルトやナットもエンジンが温まり熱膨張を繰り返すと少しづつ緩んでくる場合がありますので、定期的に各ボルト - ナット類をまじ締めして下さい。

6V車

6V車はカムチェーンテンション - がマニュアル式の為に、定期的にチェックしないとカムチェーンが弛み、バルブタイミングや点火時期が狂います。弛んだままでバルブタイミングや点火時期を調整してもちゃんとした調整ができないのでエンジン不調やエンジン破壊の原因にもなります。バルブタイミング、点火時期、タペット調整はカムチェーンが弛んでいないか点検後して下さい。

カムチェーンテンション - の調整

カムチェーンの調整を行った場合は、点火タイミングの点検を行って下さい。



アジャストボルトB

アジャストボルトA

ピストン組み付け

クランクケースのスリ - ブホ - ル部カムチェーンホ - ル部にきれいなウエスを詰め込む。

ピストンのどちらか片方にピストンピンサー - クリップを取り付ける。

ピストンピンサー - クリップの合い口は、ピストンピン穴の切り欠き部を避け、ピストンに対して上下方向に合わせる。



スリーブ

干渉部分

シリンダー

合い口

合い口

合い口

合い口

合い口

シリンダ - 組み付け

シリンダ - ベ - ス面を脱脂し、ノックピン2個とシリンダ - ベ - スガスケットラバ - パッキンを取り付ける。

シリンダ - 内にオイルを塗布しピストンリングの合い口がずれないようにシリンダ - を取り付ける。ガイドロ - ラ - とシリンダ - サイドボルトを仮止めする。

シリンダ - 面とヘッド面を脱脂しノックピン2個を取り付ける。

シリンダ - ヘッドガスケットにシ - ルパッキンを塗りシリンダ - に取り付けラバ - パッキン2個を取り付ける。

カムチェーンを通しながらシリンダ - ヘッドを取り付けるカムチェーンは落ちないようにしておく。ヘッドワッシャとヘッドナットを取り付け規定トルクで締め付ける。

シリンダ - ヘッドサイドボルトと先に仮付けていたガイドロ - ラ - ボルトとシリンダ - サイドボルトを締め付ける。

シリンダ - ヘッドサイドボルトと先に仮付けていたガイドロ - ラ - ボルトとシリンダ - サイドボルトを締め付ける。

シリンダ - ヘッドサイドボルトと先に仮付けていたガイドロ - ラ - ボルトとシリンダ - サイドボルトを締め付ける。

シリンダ - ヘッドサイドボルトと先に仮付けていたガイドロ - ラ - ボルトとシリンダ - サイドボルトを締め付ける。

シリンダ - ヘッドサイドボルトと先に仮付けていたガイドロ - ラ - ボルトとシリンダ - サイドボルトを締め付ける。

シリンダ - ヘッドサイドボルトと先に仮付けていたガイドロ - ラ - ボルトとシリンダ - サイドボルトを締め付ける。

シリンダ - ヘッドサイドボルトと先に仮付けていたガイドロ - ラ - ボルトとシリンダ - サイドボルトを締め付ける。

シリンダ - ヘッドサイドボルトと先に仮付けていたガイドロ - ラ - ボルトとシリンダ - サイドボルトを締め付ける。

シリンダ - ヘッドサイドボルトと先に仮付けていたガイドロ - ラ - ボルトとシリンダ - サイドボルトを締め付ける。

シリンダ - ヘッドサイドボルトと先に仮付けていたガイドロ - ラ - ボルトとシリンダ - サイドボルトを締め付ける。

シリンダ - ヘッドサイドボルトと先に仮付けていたガイドロ - ラ - ボルトとシリンダ - サイドボルトを締め付ける。

シリンダ - ヘッドサイドボルトと先に仮付けていたガイドロ - ラ - ボルトとシリンダ - サイドボルトを締め付ける。

シリンダ - ヘッドサイドボルトと先に仮付けていたガイドロ - ラ - ボルトとシリンダ - サイドボルトを締め付ける。

シリンダ - ヘッドサイドボルトと先に仮付けていたガイドロ - ラ - ボルトとシリンダ - サイドボルトを締め付ける。

シリンダ - ヘッドサイドボルトと先に仮付けていたガイドロ - ラ - ボルトとシリンダ - サイドボルトを締め付ける。

シリンダ - ヘッドサイドボルトと先に仮付けていたガイドロ - ラ - ボルトとシリンダ - サイドボルトを締め付ける。

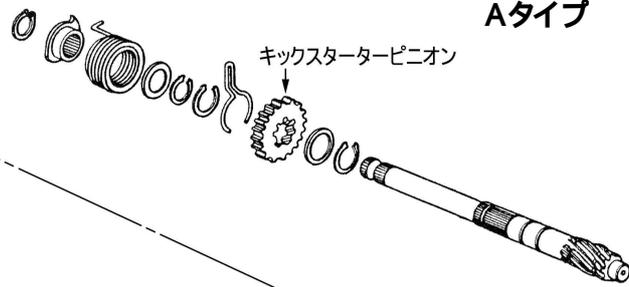
インナーローターC D I使用について



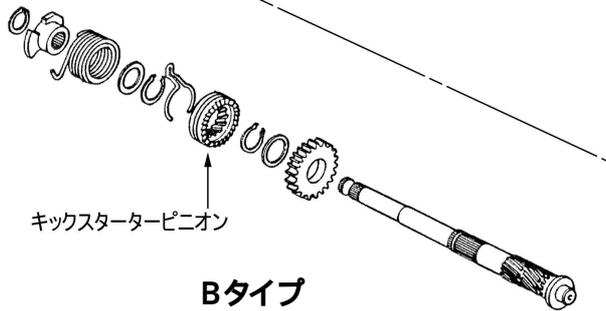
タイミングプレート使用について
 ステータープレートに3.5刻印があるもののみ使用可能

5速ミッション使用について
 5速ミッションキットを取り付ける場合キックスタータースピンドルがAタイプの場合は必ずBタイプに交換して下さい。キックスタート時にトルクの伝達効率が向上しギヤにかかる負荷を軽減できるため、ギヤ破損防止にもつながります。

Aタイプ



Bタイプ



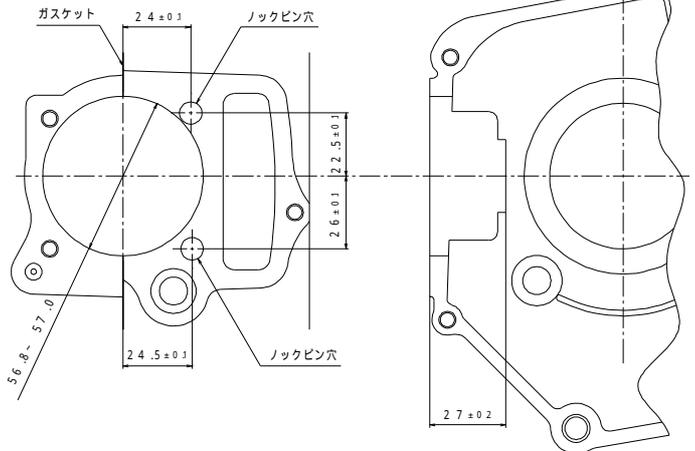
Bタイプキックスタータースピンドル交換の場合はキックスターターピニオンも同時に交換が必要です。ミッションキットに合った歯数の物に交換して下さい。Aタイプのキックスターターピニオンは使用出来ませんので注意して下さい。

品名	品番
Bタイプキックスタータースピンドルキット	02-04-001
Bタイプキックスターターピニオン 2.3T	K-2.3B
Bタイプキックスターターピニオン 2.5T	K-2.5B

ハイクオリティーシリンダーを使用される方は、クランクケースのボーリング加工が必要です。加工を行って下さい。

~当社以外へクランクケースの加工をご依頼される方へ~

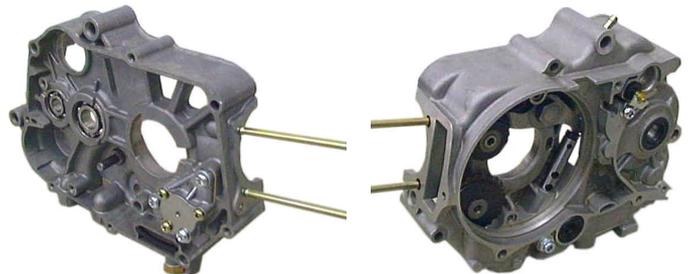
加工寸法は、クランクケースガスケットをはさんだ状態の仕上がりで 56.8 - 57.0 mm になるように、当商品を合わせながら少しずつ削って下さい。加工するとノックピン穴との肉厚は薄くなり耐久性は低下します。それによりクランクケースが損傷する場合があります。



~当社へクランクケースの加工をご依頼される方へ~

住所、氏名、電話番号、車種、フレームナンバーを必ず明記の上、ご同封下さい。送料はお客様負担とさせていただきます。当社取扱車種に限らせて頂きます。当社へご依頼される前に必ず下記作業を行って下さい。指示通りに作業が行われていない場合、未加工の上お客様負担で返品させていただく事があります。尚、クランクケース加工時にケースに巣等が発見された場合、当社はその責任を負いません。

ホンダ純正サービスマニュアルを参照し、クランクケースを分割して下さい。R.クランクケースに付いているスタッドボルト、ドレンボルト、オイルポンプ、オイルフィルタースクリーン、シフトリフタスプリングピンを取り外します。L.クランクケースに付いているスタッドボルト、ニュートラルスイッチコンタクト、カムチェーンガイドスプロケット、カムチェーンテンショナープッシュロッド、カムチェーンテンショナーアームを取り外します。



スクレーパー等を用いてクラッチカバーおよびクランクケース合わせ面のガスケットをきれいに取り除いて下さい。クランクケースの汚れや、油分をきれいに取り除いて下さい。使用されていた10mmのクランクケースノックピン2個を同封の上、輸送中の破損等の防止のためクランクケースの周りをクッション性の良い物で覆ってから梱包して下さい。



ご注意

クランクケースを加工されますとケースの肉厚が薄くなり、強度が落ちますのでスタッドボルトの締め付けには、充分ご注意ください。ご使用中におかれましても損傷する場合がございますがご了承下さい。如何なる場合におきましても当社は一切の責任を負いません。

パーツ使用例

種類 (ボア径)	106 (52)
内径×行程 (排気量)	52×50 (106.2cc)
カムチェーン	強化カムチェーン 01-14-01
オイルポンプ	スーパーオイルポンプ 01-16-004, 01-16-005
クラッチ	スペシャルクラッチ 乾式クラッチ
点火系	12V, STDジェネレーター/STD.CDI 12V, STDジェネレーター/ハイパー.CDI アウターローターCDI 05-02-082 (05-02-081不可) タイミングプレート35° 05-01-031, 05-01-071 6V, STDジェネレーター (ポイント点火) インナーローター式CDI (レース専用)
キャブレター	ケイヒンPE24 ミクニフラットVM24 ミクニVM26 ケイヒンPE28
マフラー	T'win BOMBER ダウン/アップ NEO NEW DOWN Fit ドラッガー レーシングダウン (レース専用) レーシングアップ/右/左 (レース専用)
使用限界回転数	11,000rpm

エンジン回転数が使用限界回転数に入らないようにして下さい。

空吹き及び1速2速ギヤ位置での急加速は使用限界回転数に入りやすいので特に注意して下さい。

使用限界回転数以上で使用するとエンジン回転が不円滑になり、エンジン寿命に悪影響を与えるだけでなく最悪の場合エンジンが壊れます。

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は、その賠償の責を一切負いかねます。

この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても、当社製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

商品を加工された場合、一切保証の対象にはなりません。

指示している部品以外との組み合わせによるトラブルでの保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

他社製品との組み合わせトラブルの原因にもなりますので絶対行わないで下さい。

性能、デザイン、価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は、交換させて頂きます。正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。尚、レース等でご使用の場合は、いかなる場合もクレームは一切お受け出来ません。あらかじめご了承下さい。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

SPECIAL PARTS TAKEGAWA

〒584-0069

大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357

FAX 0721-24-5059

URL <http://www.takegawa.co.jp>